平成28年３月議会　宇都宮市議会定例会報告

主な質問事項

1 宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
2 平成28年度当初予算について
3 LRT導入計画と都市計画決定について
　1）平石地区に対する今後の合意形成の取り組みについて
　2）辰街道の交通渋滞、通学路の安全、コミュニティーの確保について
　3）代替ルート案に対する見解について
　4）市民意見をどのように都市計画に反映するか
4 障害者総合支援法への対応について
　1）特定疾患患者福祉手当の継続について
　2）難病患者の外出支援、社会参加促進について
5 保育士の確保策について
6 樹木を囲むごみステーションについて
7 子どもの家の運営について
　1）ボランティアの運営委員で運営する時代の脱却
　2）事業全体を管理する専任指導員の設置を

質問要旨

3 LRT導入計画と都市計画決定について

Q 平石地区の地元住民から様々な課題が提起されているが、今後の合意形成の取り組みについて伺う。

A これまで、出前講座や保護者への説明会を実施してきたが、市長自身が現地調査や意見交換を実施（3/16実施）する。

Q 都市計画素案に対する意見書や公聴会での市民意見をどのように都市計画に反映されるのか。さらに、地域住民が異を唱え合意がなされないまま、ＬＲＴ導入ルートの都市計画を決定するのか見解を伺う。

A ＬＲＴ事業を進めるにあたっての懸念や不安の意見があったが、都市全体の交通体系や効率的な交通処理、都市環境の保全、利用者の利便性、周辺土地利用等の観点から検討した結果、都市計画素案の内容が適切と判断した。４月下旬に開催する都市計画審議会で決定していく。

4 障害者総合支援法への対応について

Q 難病法の施行により支援すべき難病の定義が確立されたとして、福祉手当の対象疾患の条例見直しが提出されている。市独自指定20疾患などの方々の約２千人がこの福祉手当の対象外となり、支給が受けられなくなる。20疾患などの方々も対象として継続すべきであり見解を伺う。

A 国や県が指定した医療費助成制度の対象となる312疾患に難病患者福祉手当を拡充・再構築するが、対象外となる20疾患に該当する方には、３年間で段階的に支給額を減らしながら福祉手当を終了する。

Q 市単独事業として、高齢者専用バス乗車券の交付や重度心身障がい者タクシー料金助成などがあるが、難病患者の外出の支援・社会参加を促すためにも、障害者の方々と同じように取り組むべきと考えますが見解を伺う。

A 近難病法に基づき設置された患者団体や関係機関で構成する、難病対策地域協議会などで、難病患者の外出支援や社会参加の状況の把握に努める。

7 子どもの家の運営について

Q 難指導員は子どもと向き合う時間を充実させるべきで、国が示す指針に確実に応えていくためには、事業全体を管理する専任指導員を配置する予算の構築を求める。

A 国の指導員配置に関する支援の動向をふまえるとともに、本市の実態を把握しながら、調査･研究する。今後とも､運営委員会や指導員、利用者の声に耳を傾けるとともに、子どもの家連合会との連携を図りながら､支援していく。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

主な質問事項

1 LRTとまちづくりについて
2 中央省庁の誘致について
3 地域療養支援体制の構築について
4 特殊詐欺の撲滅について
5 結婚から子育てまで切れ目のない支援について
6 道路の無電柱化について
7 中央卸売市場の活性化について
8 特別支援教育の体制整備について

質問内容

4 特殊詐欺の撲滅について

振り込め詐欺やオレオレ詐欺など、高齢者を狙った犯罪が後を絶たず、手口も悪質化･巧妙化している。Ｈ27年の被害状況をみても、県内で226件、約７億4,200万円の被害、そのうち市内においても87件、約２億3,200万円の被害が発生しており、特殊詐欺の被害から市民を守ることは喫緊の課題である。この様な中、本市では警察や関係機関・団体と連携し、特殊詐欺に対する取り組みの充実・強化を目的とした「特殊詐欺対策アクションプログラム」が策定された所でありその取組を伺う。

① プログラムの策定にあたり、被害者の実態をどう分析し、未然防止に向けてどのような取組を行うのか伺う。

② 平成28年度の新規事業として、電話機に設置する「特殊詐欺撃退機器」の貸し出しが予算計上されているが、機器の貸し出しに加え普及促進が必要と考えるが、どのように取り組むのか伺う。

答弁抜粋：市民まちづくり部長

① プログラムの策定にあたり、警察からの情報提供や市政世論調査により調査した結果、「必ず犯人から電話がある」ことや、「被害者の７割は高齢者であること」また、「被害に遭われた方の９割は、特殊詐欺を知っていたにも関わらず被害に遭っていたこと」などの事実が明らかになり、こうした分析を踏まえた段階ごとの効果的な対策を盛り込み、特に「犯人からの電話を遮断する取組」や「犯人からの電話に疑いを持たせる取組」が有効であることから、「撃退機器貸出事業」や「注意喚起物の電話機への設置」等を重点事業と位置付けした。

②「撃退器機貸出事業」は、高齢世帯等を対象に、犯人からの電話を遮断する撃退器機を無償で貸し出し、地域と連携して電話機に設置するもので、台数は１千台、貸出期間は原則６ヵ月とし、４年間で延べ５千世帯への設置を目指す。普及のために広報誌やホームページ等で周知するとともに，貸出期間終了後，引き続き使用を希望する世帯には当該機器を譲渡するなど積極的な普及促進を図り、特殊詐欺被害の未然防止に努めていく。

貸し出しを開始する特殊詐欺撃退機器並びに配布ステッカー

６月議会一般質問登壇予定者

山本正人・福田智恵

市政に関するご意見、ご要望は私たちにお寄せ下さい!

掲載項目　名前／①当選期数／②会派の役職／③所属委員会・会議／④連絡先／⑤メールアドレス／⑥ホームページ

いまい　やすお
今井 恭男
①８期　②会長
③文教消防水道常任委員会
健康長寿調査特別委員会
各会派代表者会議
都市計画審議会
④宇都宮市下栗718－３
TEL．656－3841
FAX．656－4106
⑤y-imai@gem.hi-ho.ne.jp
⑥http://www.hi-ho.ne.jp/y-imai/imai/Top.html.

まかべ　ひでとし
真壁 英敏
①５期　②副会長
③総務常任委員会
スポーツ・文化振興調査特別委員会
人口減少対策検討懇談会
④宇都宮市泉が丘３－24－５
TEL．661－5828
FAX．661－5828
⑤hmakabe@sea.ucatv.ne.jp

こまば　あきお
駒場 昭夫
①３期　②幹事長
③文教消防水道常任委員会【委員長】
スポーツ･文化振興調査特別委員【副委員長】
議会運営委員会
中央卸売市場運営協議会
④宇都宮市下川俣町５－２
TEL．661－7343
FAX．661－7343
⑤a.komaba@mx10.ttcn.ne.jp

やまもと　まさと
山本 正人
①８期
③建設常任委員会
人口減少対策調査特別委員会
後期高齢者医療広域議会議員
④宇都宮市江曽島町102－４
TEL．678－6025
FAX．678－6288
⑤masato@yamamoto-m.com
⑥http://www.yamamoto-m.com

ふくだ　ちえ
福田 智恵
①３期　②政調会長
③環境経済常任委員会【副委員長】
健康長寿調査特別委員会【委員長】
市街地開発組合議会議員
環境審議会
④宇都宮市六道町12－38
TEL．636－2582
FAX．636－2559
⑤info@f-chie.jp
⑥http://www.f-chie.jp

こだいら　みちお
小平 美智雄
①２期　②会計
③厚生常任委員会
人口減少対策調査特別委員会
広報広聴委員会【副委員長】
交通安全審議会
通学区域審議会
④宇都宮市鶴田町405－38
TEL．305－4269
FAX．305－4269
⑤kodaira.m@nifty.com

なかつか　ひでのり
中塚 英範
①１期
③総務常任委員会
議会運営委員会
人口減少対策調査特別委員会
広報広聴委員会
社会福祉審議会
廃棄物減量等推進審議会
④宇都宮市高砂町25－15－203
TEL．653－5151
FAX．636－1017
⑤info@hide-nakatsuka.com
⑥http://hide-nakatsuka.com

さらに議会情報をご覧になりたい方は、宇都宮市議会ホームページまでアクセスして下さい。

http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/